



Cisco 電源装置 IW-PWRADPT-MFIT4P= 設置ガイド

[Cisco 電源装置 IW-PWRADPT-MFIT4P= 設置ガイド](#) 2

製品概要 2

技術仕様 5

取り付け手順 5

Regulatory Information 6

改訂：2023年9月18日

Cisco 電源装置 IW-PWRADPT-MFIT4P= 設置ガイド

このドキュメントでは、Cisco 電源 IW-PWRADPT-MFIT4P=（このドキュメントでは電源と呼びます）の詳細と、取り付け手順について説明します。

製品概要

Cisco 電源装置 IW-PWRADPT-MFIT4P= は、48 V の DC 電圧出力を備えた、屋外用单相 AC/DC、60 W 出力の幅広い温度範囲の外部電源です。電源装置は、90 ~ 264 VAC および 135 ~ 370 VDC で動作します。

図 1: 電源装置 IW-PWRADPT-MFIT4P=



電源アダプターの開梱

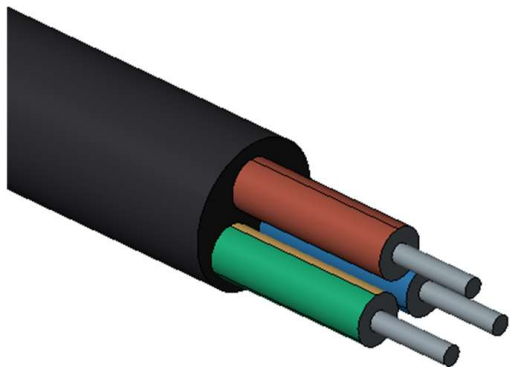
電源アダプターには次の品目が同梱されています。

- 電源アダプター
- AC 電源コード
- DC 電源コード

部品の欠品または損傷が見つかった場合、シスコの担当者またはリセラーまでお問い合わせください。






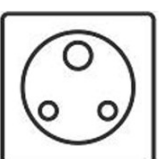
AC ケーブルアセンブリ

AC ケーブルの対応するフェーズの線を電源システムに接続します。



フェーズ	ワイヤの色
L	茶
なし	青
PE	緑/黄

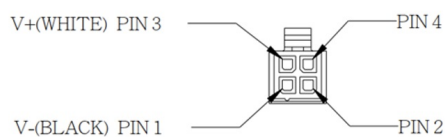
AC プラグに接続する場合は、国ごとに異なるタイプのプラグを使用する必要があります。次の表は参考資料です。

プラグタイプ	国	プラグタイプ	国
	米国、台湾、日本、カナダ、メキシコ		英国、シンガポール
	ヨーロッパ、モロッコ		韓国、ロシア
	中国、オーストラリア、アルゼンチン		インド、南アフリカ

DC ケーブルアセンブリ

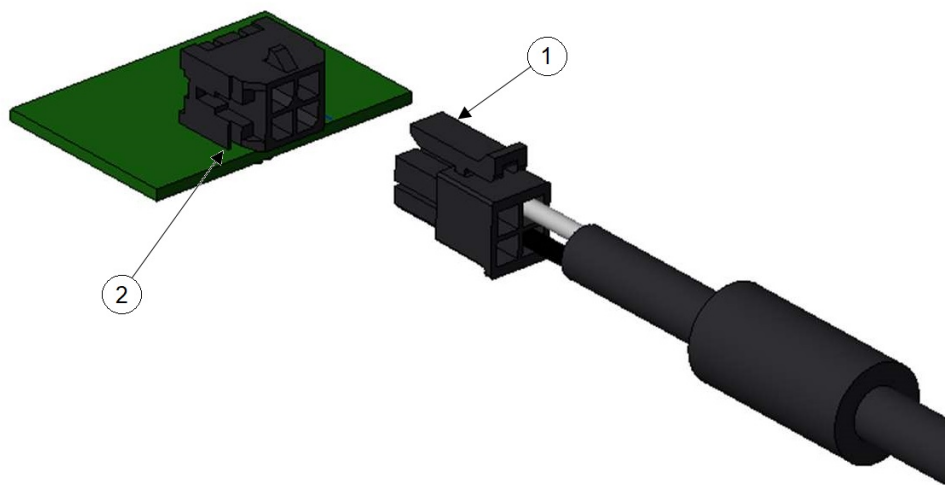
電源装置の出力コネクタは、4つの金メッキ接点を備えた Molex Microfit 現場終端可能なプラグキットです。次の表に、ピン割り当てを示します。出力ケーブルの長さは 1 m +/- 5% にする必要があります。

図 2: 出力コネクタ : Molex Microfit



Molex Microfit ピン	Assignment
ピン 1	黒 (- マイナス端子)
ピン 2	割り当てなし
ピン 3	白 (+ プラス端子)
ピン 4	割り当てなし

DC ケーブルアセンブリの場合は、システムのヘッダーにソケットを挿入します。次の図は参考用です。



1	レセプタクル : JWT C3004H00-2x2P、3.0mm ピッチ、2x2 ピン	2	ヘッダー : Molex 430450400 または C3004WV0-2x2P
---	------------------------------------------------	---	---------------------------------------------

技術仕様

次の表に、電源の仕様を一覧表示します。

表 1:

仕様	IW-PWRADPT-MFIT4P=
入力電圧範囲および周波数	AC 入力：100-240 V、50-60 Hz（定格） 135 ~ 370 VDC
出力電圧および電流	48 VDC、1.25 A
物理仕様	寸法（幅 X 高さ X 長さ）：37 mm X 62 mm X 171 mm 重量：685g +/-30g
動作温度	-40°C ~ +65°C、日射負荷あり、静止空気状態
非動作時温度	-40 ~ +85°C
湿度	動作時：5 ~ 95%、アダプタの外部での結露は許容 非動作時：5 ~ 95%、アダプタの外部での結露は許容 IP67 保護等級
熱衝撃	動作時熱衝撃：0.5 °C/分で 40 ~ + 65 °C 非動作時熱衝撃：2 ~ 3 分の経時変化で 40 ~ 85°C
高度	動作時の高度：海拔 500 ~ 17,000 フィート 非動作時の高度：海拔 1,000 ~ 30,000 フィート
信頼性	MTBF：40 °C で 300,000 時間

取り付け手順

取り付けブラケット AIR-ACCPMK3700= または AIR-ACCPMK3700-2= を使用して電源アダプター IW-PWRADPT-MFIT4P= を支柱上の IW9167EH アクセスポイントに取り付けるには、以下の手順を実行します。取り付け手順の詳細については、『[Cisco Catalyst IW9167E Heavy Duty Access Point Hardware Installation Guide](#)』の「[Attaching a Power Adapter](#)」を参照してください。

装置の右および左に取り付けタブを使用して、最も垂直な面または水平な面に電源アダプターを取り付けることができます。詳細については、「[取り付けタブの使用（6 ページ）](#)」を参照してください。



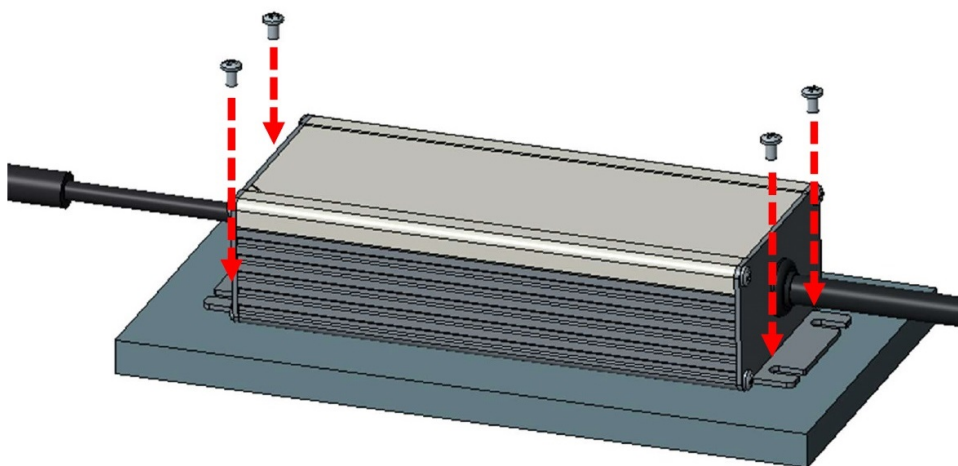
(注) デバイスはアース付コンセントに接続する必要があります。

取り付けタブの使用

取り付けタブを使用して電源アダプターを垂直または水平面に取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

- ステップ1 電源アダプターの取り付けタブの穴をテンプレートとして使用して、ウォールアンカーまたはネジ用の穴を開ける場所に印を付けます。
- ステップ2 印を付けた場所ごとに穴を開けます。
- ステップ3 電源アダプターを表面に固定し、ネジ穴と電源アダプターの取り付けタブの位置を合わせます。
- ステップ4 #6-32 UNC または M3.5 のネジを取り付けタブを介して壁面または表面の穴に差し込みます。



- ステップ5 プラス ドライバを使用して表面にネジを差し込みます。

(注) 電源アダプターがしっかり固定されていない場合は、十分固定されるまで微調整します。

Regulatory Information

次の情報は FCC クラス B 準拠装置に関する記述です。

このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコの指示する設置手順に従って設置されなかった場合、ラジオ、テレビによる受信障害が発生することがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みで

す。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザーの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザー側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します。（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。